

# 次期荒尾市総合計画 中学生アンケート 報告書

令和 7 年 8 月  
荒尾市

## 1 調査の概要

### (1) 調査の目的

荒尾市では、「人がつながり幸せをつくる 快適未来都市 ～「暮らしたいまち日本一」を目指して～」を将来像とする「第6次荒尾市総合計画－改訂版－」(令和2～7年度)を策定し、出生数の大幅な減少をふまえながら、少子化対策についても強化することとし、子どもがいる人もいない人も誰もが、子どもを通じて笑顔でいられる温かい荒尾市の実現を目指して、市民・民間・行政が一丸となって取り組んできた。

計画期間の満了を迎えるにあたり、次期計画策定の基礎資料とするため、アンケート調査を実施した。特に、荒尾市の未来を担う中学生がまちの現状や将来についてどのように考えているかを把握することで、子どもや若者の視点を今後のまちづくりや少子化対策に活かすことを目的としている。

### (2) 調査実施概要

区分	調査対象
調査対象	荒尾海陽中学校、荒尾第三中学校、荒尾第四中学校に通学する生徒
調査対象者数	1,280名(令和7年5月1日時点)
調査方法	インターネット調査
有効回答数	1,006
実施期間	令和7年6月23日から令和7年7月4日

### (3) 調査結果の見方・留意点

- 回答は、原則として各質問の調査数を基数(n)とした百分率(%)で表し、小数第2位を四捨五入している。このため、百分率の合計が100%にならない場合がある。また、2つ以上の回答が選択できる複数回答の質問では、回答比率の合計が100%を超える場合がある。
- クロス集計等において、基数(n)となる調査数が少数となる場合は参考までに数値を見る程度に留め、結果の利用には注意を要する。

## 2 調査結果

問 1 あなたの住んでいる小学校区を教えてください。

図表 1 回答者の小学校区

小学校名	回答者数	割合(%)
荒尾第一小学校	158	15.7
万田小学校	138	13.7
平井小学校	62	6.2
府本小学校	30	3.0
八幡小学校	80	8.0
有明小学校	69	6.9
緑ヶ丘小学校	141	14.0
中央小学校	199	19.8
清里小学校	30	3.0
桜山小学校	42	4.2
市外	4	0.5
無回答	53	5.3

問 2 あなたが通っている中学校を教えてください。

図表 2 回答者の中学校

中学校名	回答者数	割合(%)
荒尾海陽中学校	395	39.3
荒尾第三中学校	435	43.2
荒尾第四中学校	175	17.4
無回答	1	0.1

問 3 あなたの学年を教えてください。

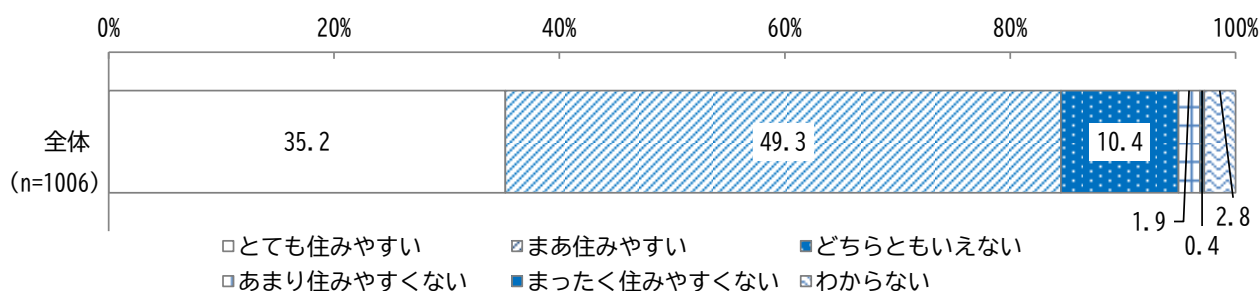
図表 3 回答者の学年

学年	回答者数	割合(%)
中学1年生	402	40.0
中学2年生	322	32.0
中学3年生	280	27.8
無回答	2	0.2

問4 荒尾市について、あなたはどのくらい「住みやすい」と感じますか。

住みやすさの評価をみると、全体では、「とても住みやすい」と回答した生徒が35.2%、「まあ住みやすい」が49.3%となり、約8割以上が肯定的に捉えている結果となった。「どちらともいえない」は10.4%、「あまり住みやすくない」「まったく住みやすくない」はそれぞれ1.9%、0.4%と少数にとどまった。「わからない」とした生徒は2.8%であった。

図表4 荒尾市の住みやすさ(全体)

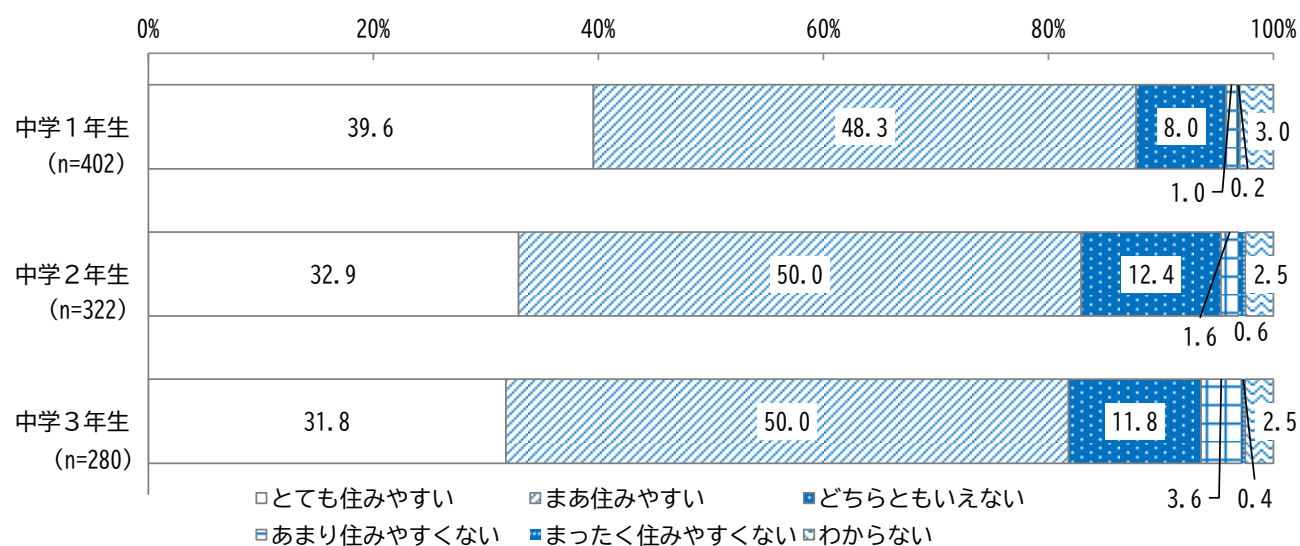


学年別にみると、中学1年生では「とても住みやすい」との回答が39.6%と他学年より高く、肯定的な回答(「とても住みやすい」「まあ住みやすい」)は全体で87.9%に達する。中学2年生・3年生では「とても住みやすい」がそれぞれ32.9%、31.8%、「まあ住みやすい」がともに50.0%となっており、肯定的な割合は中学2年生で82.9%、中学3年生で81.8%であった。

一方、否定的な評価は全学年ともにごく少数であった。「どちらともいえない」「わからない」の割合は、中学1年生が8.0%、3.0%であるのに対し、中学2年生(12.4%、2.5%)、中学3年生(11.8%、2.5%)と、学年が上がるにつれてやや増加する傾向がみられる。

このように、荒尾市は中学生からおおむね高く評価されており、特に低学年ほど「住みやすい」との肯定的な回答が多いことが特徴であるが、学年が上がるにつれて中立的な意見が増える傾向がある。

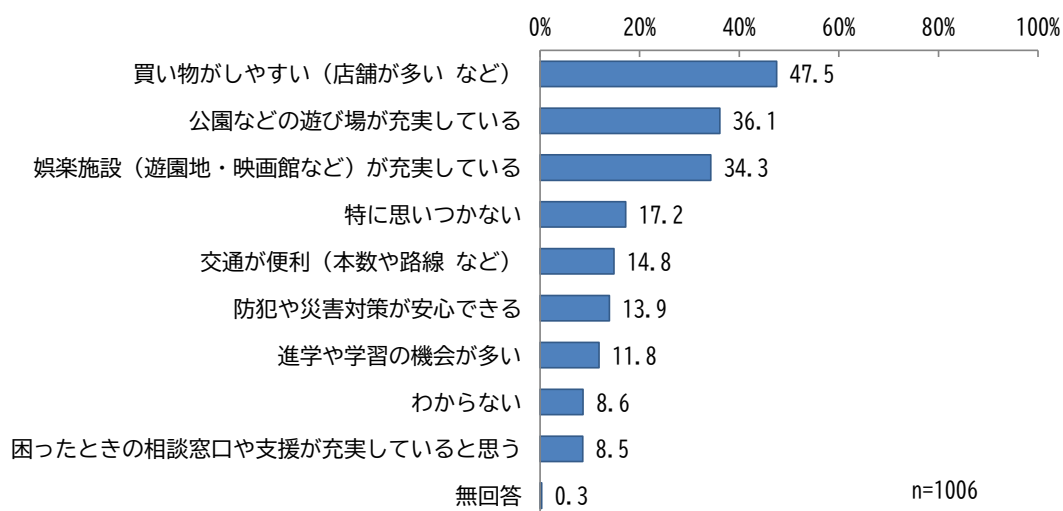
図表5 荒尾市の住みやすさ(学年別)



問 5 荒尾市の「いいところ」だと思うものを、以下からすべて選んでください。

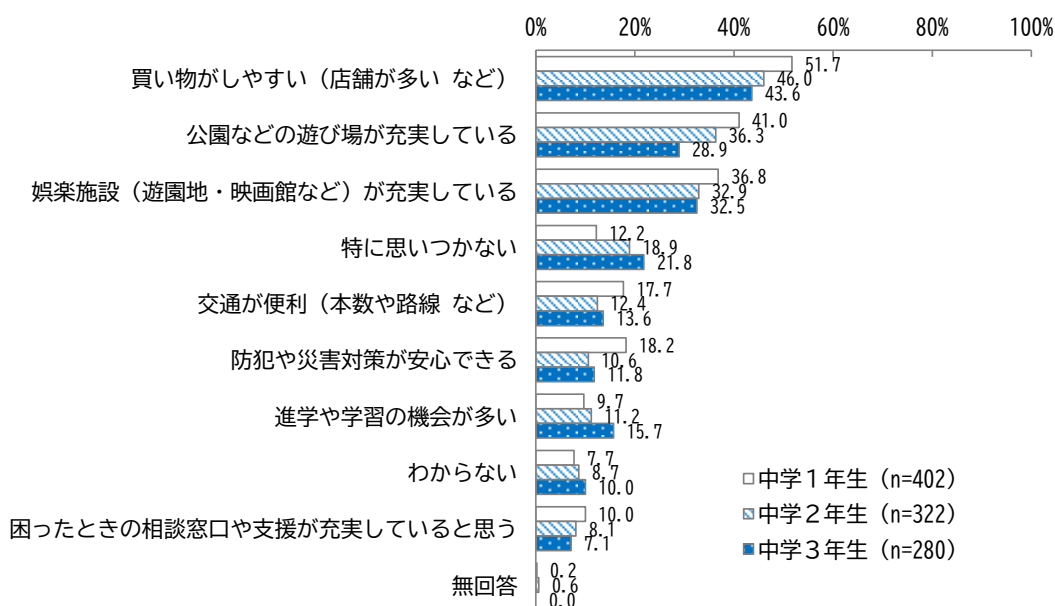
全体では、「買い物がしやすい(店舗が多いなど)」(47.5%)が最も多く、次いで「公園などの遊び場が充実している」(36.1%)、「娯楽施設(遊園地・映画館など)が充実している」(34.3%)となっている。中学生の日常生活において買い物や遊び場、娯楽施設の存在が大きなウエイトを占めている。

図表 6 荒尾市の魅力(全体)



学年別にみると、中学1年生は「買い物がしやすい(店舗が多いなど)」(51.7%)や「公園などの遊び場が充実している」(41.0%)など、全体的に肯定的な回答が多い。一方、中学3年生では「買い物がしやすい(店舗が多いなど)」(43.6%)や「遊び場が充実している」(28.9%)など、学年が上がるにつれて選択率が下がる傾向が見られる。また、中学3年生は「特に思いつかない」「わからない」と答えた割合も他学年より高い。この結果から、学年が上がるほど、まちの良さに対する実感や肯定的評価がやや減る傾向がうかがえる。

図表 7 荒尾市の魅力(学年別)

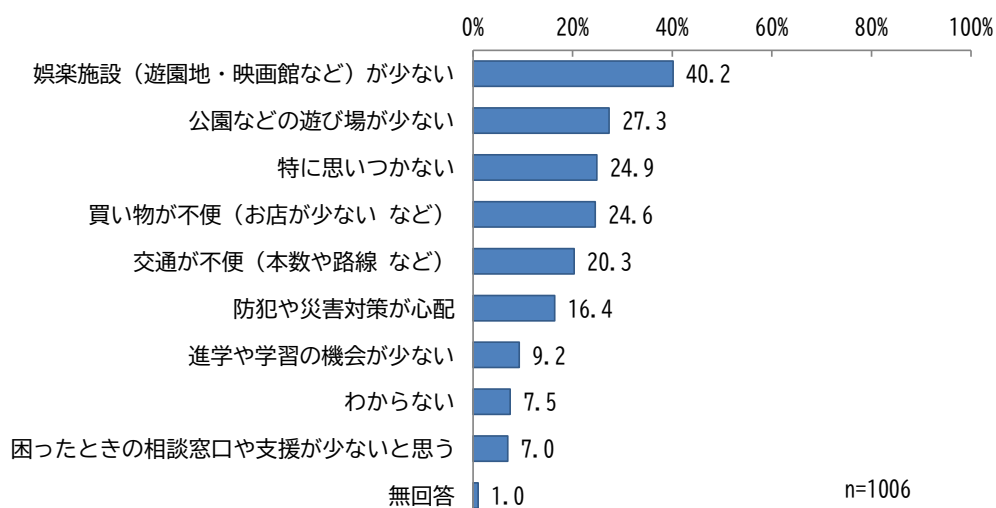


問 6

逆に、荒尾市で「困ること」や「もっとよくしてほしい」と思うものを、以下からすべて選んでください。

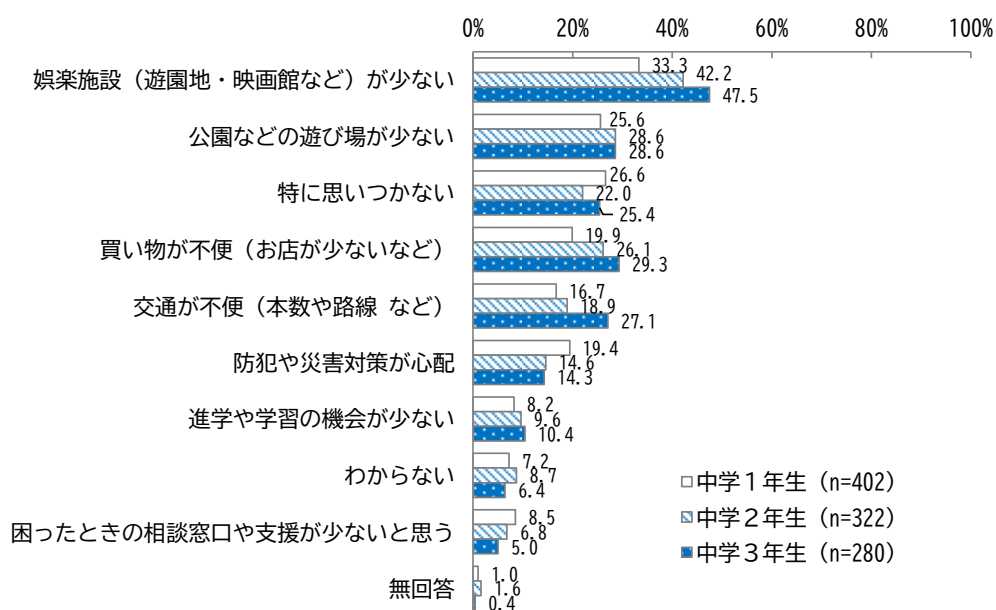
全体では、「娯楽施設（遊園地・映画館など）が少ない」（40.2％）が最も多く、次いで「公園などの遊び場が少ない」（27.3％）、「特に思いつかない」（24.9％）となっている。日常生活における娯楽や利便性に関する課題が上位に挙げられている。

図表 8 荒尾市の困りごと・改善希望(全体)



学年別にみると、中学 3 年生は「娯楽施設（遊園地・映画館など）が少ない」（47.5％）や「買い物が不便（お店が少ない など）」（29.3％）、「交通が不便（本数や路線 など）」（27.1％）など、全体的に困りごとを選ぶ割合が高い一方で、中学 1 年生では課題意識は比較的低い傾向が見られる。また、中学 3 年生は「特に思いつかない」「わからない」とした割合が他学年よりやや低い。この結果から、学年が上がるほど、まちに対して困りごとや課題を感じる生徒が増える傾向がうかがえる。

図表 9 荒尾市の困りごと・改善希望(学年別)

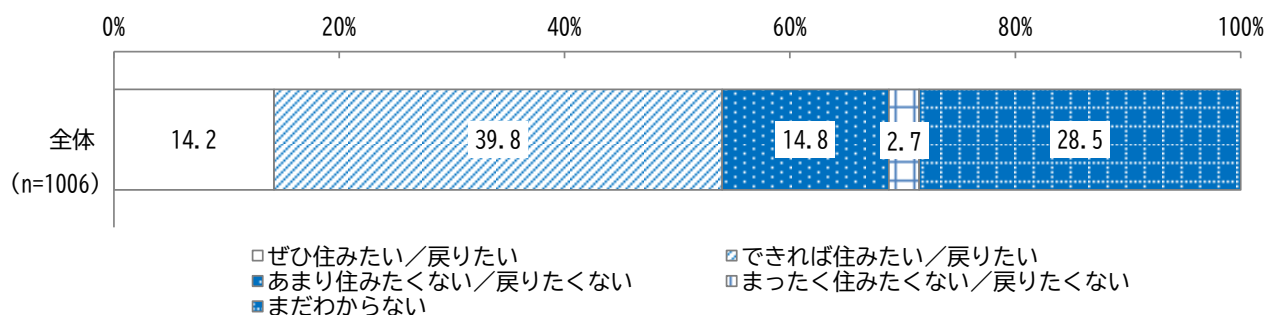


問 7

将来（高校卒業後や大人になったとき）も、荒尾市に住みたい・戻ってきたいと思いますか。

全体では、「ぜひ住みたい／戻りたい」が14.2%、「できれば住みたい／戻りたい」が39.8%となり、合わせて約半数(54.0%)が将来も荒尾市での生活を前向きに考えていることが分かる。「あまり住みたくない／戻りたくない」は14.8%、「まったく住みたくない／戻りたくない」は2.7%と、否定的な回答は比較的少数である。「まだわからない」とした生徒も28.5%と一定数存在している。

図表 10 将来の荒尾市定住意向(全体)

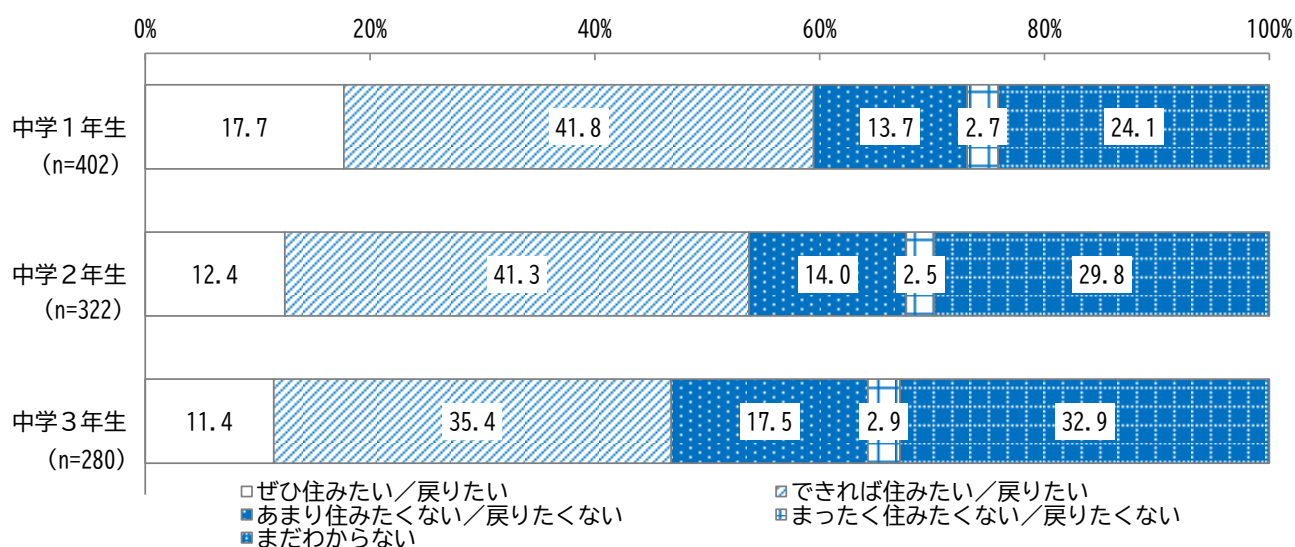


学年別にみると、中学1年生では「ぜひ住みたい／戻りたい」が17.7%、「できれば住みたい／戻りたい」が41.8%と、肯定的な回答が59.5%にのぼる。一方、中学2年生では肯定的な割合が53.7%、中学3年生では46.8%となっている。学年が上がるにつれて「まだわからない」とする回答の割合も増加している。

また、「あまり住みたくない／戻りたくない」「まったく住みたくない／戻りたくない」とする生徒の割合は、学年による大きな差はみられないが、中学3年生でやや高くなっている。

この結果から、将来も荒尾市で生活したいと考える中学生が半数以上を占めているものの、学年が上がるにつれて肯定的な回答がやや減少し、「まだわからない」とする生徒が増える傾向があることが分かる。

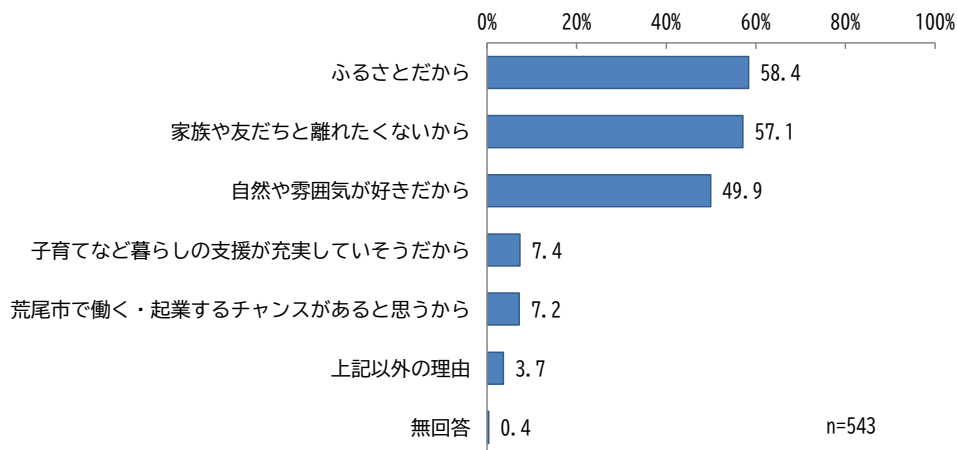
図表 11 将来の荒尾市定住意向(学年別)



問 7-1 (問 7 で 1. または 2. を選んだ人)その理由は何ですか。(複数選択可))

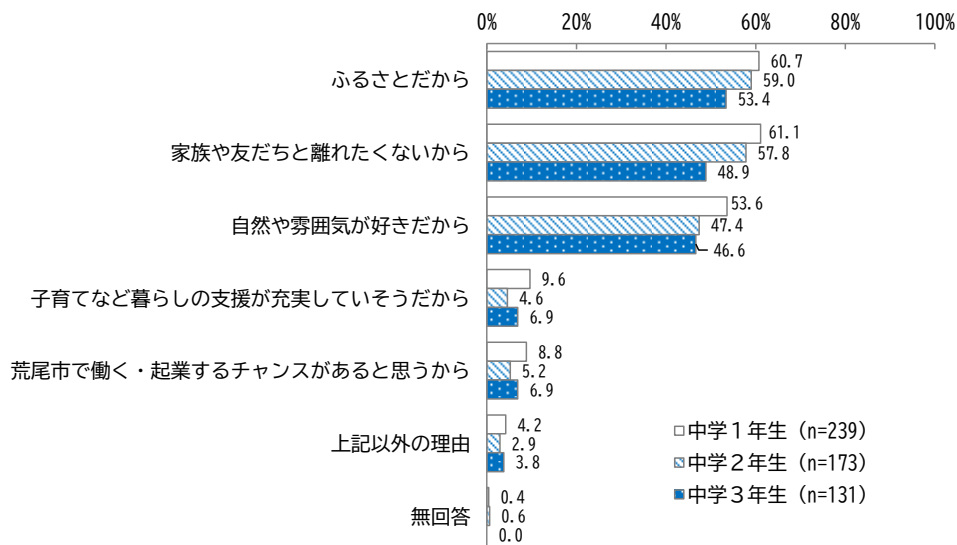
全体では、「ふるさとだから」が 58.4%、「家族や友だちと離れたくないから」が 57.1%、「自然や雰囲気が好きだから」が 49.9%となっており、地元への愛着や家族・友人とのつながり、自然環境など身近な要素を理由とする生徒が多かった。「荒尾市で働く・起業するチャンスがあると思うから」(7.2%)や「子育てなど暮らしの支援が充実していそうだから」(7.4%)といった理由は 1 割に満たず、将来的な制度・環境面を重視する生徒は少数であった。「上記以外の理由」と答えた生徒も 3.7%にとどまっている。

図表 12 荒尾市への定住を希望する理由(全体)



学年別にみると、いずれの学年でも「ふるさとだから」「家族や友だちと離れたくないから」「自然や雰囲気が好きだから」が上位を占めているが、中学 3 年生は他学年よりもやや低い。「荒尾市で働く・起業するチャンスがあると思うから」「子育てなど暮らしの支援が充実していそうだから」については、どの学年も 1 割に満たずと低い水準で、学年による大きな差はみられない。

図表 13 荒尾市への定住を希望する理由(学年別)

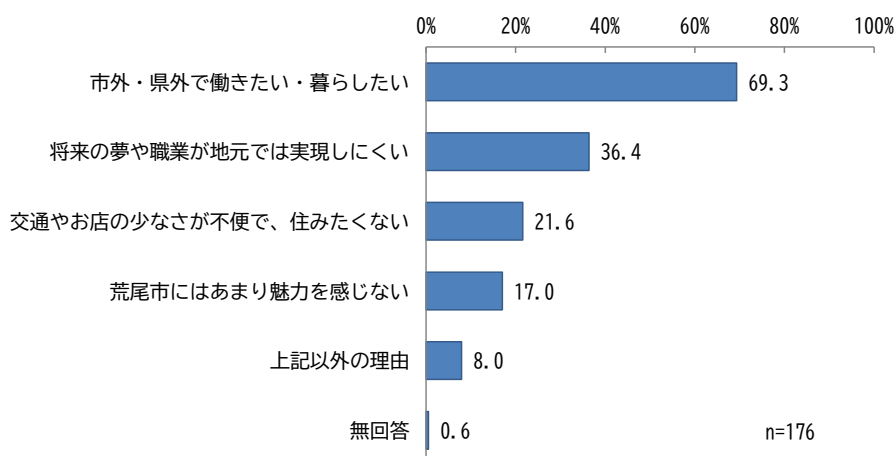




問 7-2 (問 7 で 3. または 4. を選んだ人)その理由は何ですか。(複数選択可))

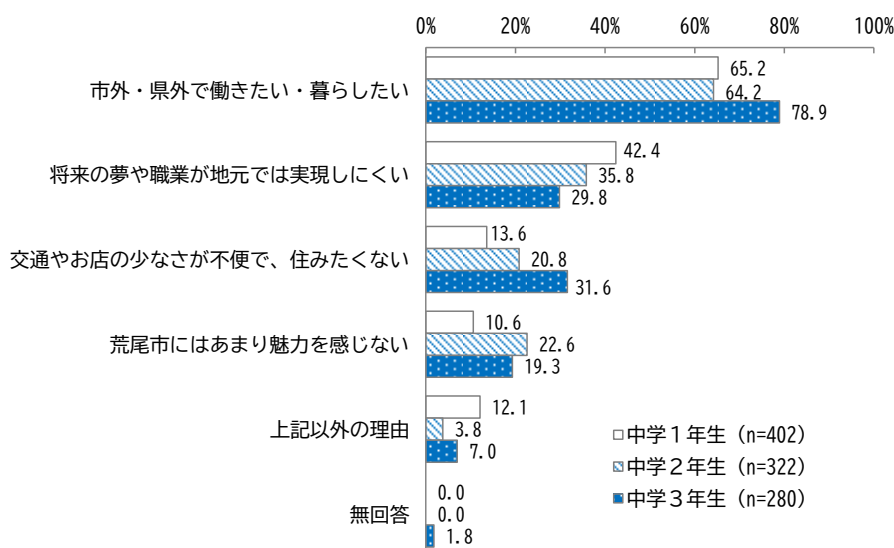
全体では、「市外・県外で働きたい・暮らしたい」が 69.3%と最も多く、次いで「将来の夢や職業が地元では実現しにくい」(36.4%)、「交通やお店の少なさが不便で、住みたくない」(21.6%)、「荒尾市にはあまり魅力を感じない」(17.0%)と続いた。住みたくない理由としては、市外や県外での生活や仕事への希望が大きな割合を占めている。加えて、「地元で夢や職業が実現しにくい」「生活の利便性が低い」など、将来の進路や生活環境への課題意識も一定数みられる。

図表 14 荒尾市への定住を希望しない理由(全体)



学年別にみると、すべての学年で「市外・県外で働きたい・暮らしたい」が最多であり、とくに中学 3 年生では 78.9%と他学年より高いなど、学年が上がるにつれて市外志向が強まる傾向もある。また、中学 1 年生は「将来の夢や職業が地元では実現しにくい」(42.4%)が比較的高い一方で、「荒尾市にはあまり魅力を感じない」(10.6%)と答えた割合は他学年より低かった。「交通やお店の少なさが不便で、住みたくない」と答えた割合は 31.6%と中学 3 年生が最も高い。

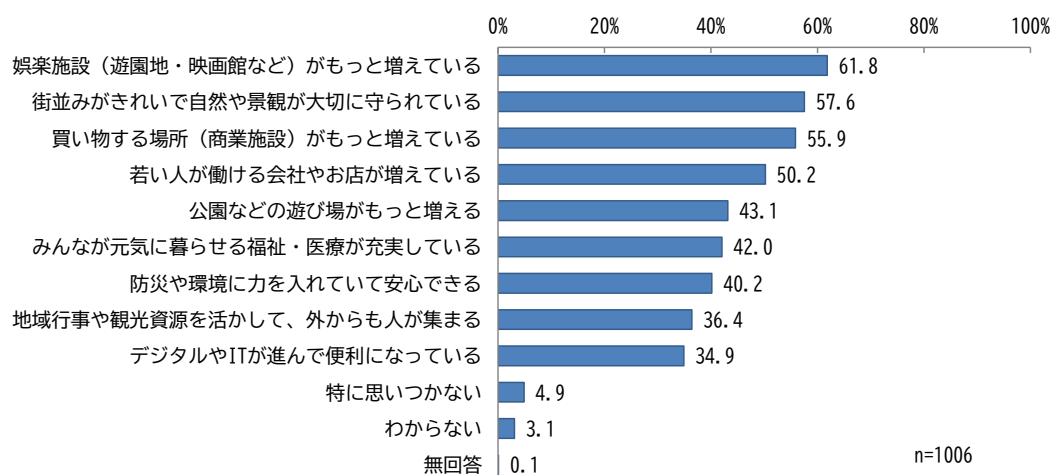
図表 15 荒尾市への定住を希望しない理由(学年別)



問 8 10 年後の荒尾市は、どのようになってほしいと思いますか。(複数選択可)

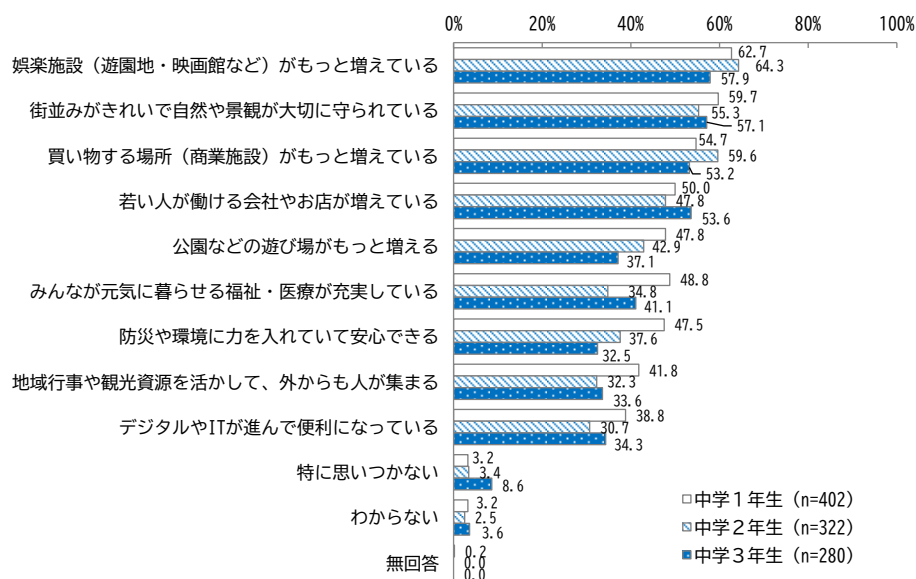
全体では、「娯楽施設(遊園地・映画館など)がもっと増えている」が61.8%と最も多く、次いで「街並みがきれいで自然や景観が大切に守られている」(57.6%)、「買い物する場所(商業施設)がもっと増えている」(55.9%)、「若い人が働ける会社やお店が増えている」(50.2%)が続いた。10 年後の荒尾市に対しては、娯楽や買い物など日常生活の利便性ととともに、自然や景観の保全、働く場の充実を求める声が多いことが分かる。そのほかについても、さまざまな分野で期待が寄せられている。

図表 16 10 年後の荒尾市に期待すること(全体)



学年別にみると、いずれの学年も「娯楽施設がもっと増えている」が最多である。中学 1 年生では全体的に期待する割合が高く、中学 2 年生・中学 3 年生でも同様に多くの項目で 5 割を超えている。ただし、全体的に学年が上がるにつれて選択率がやや下がる傾向がみられ、「特に思いつかない」(8.6%)と答えた割合は中学 3 年生で高く、学年が上がるほど 10 年後のまちの将来像に対する具体的なイメージや期待が薄れる傾向がある。

図表 17 10 年後の荒尾市に期待すること(学年別)

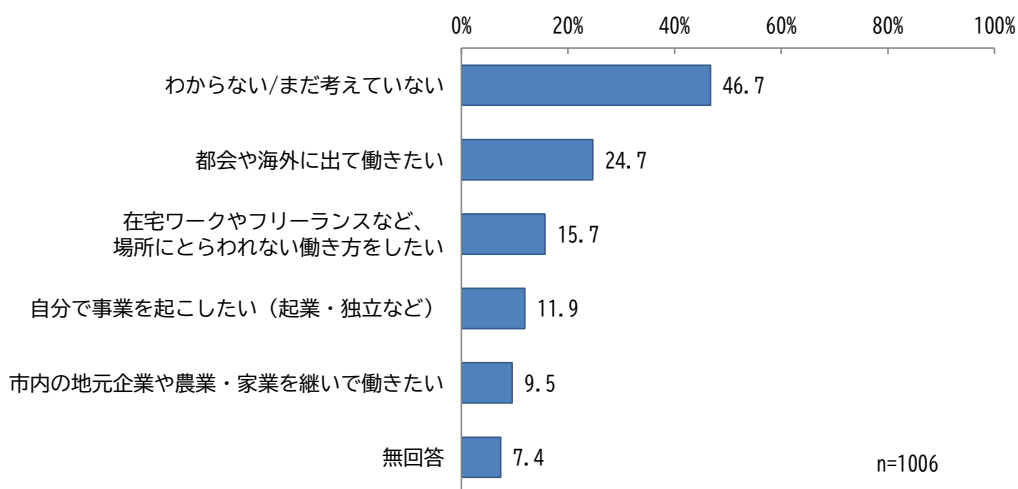


問 9

あなたが大人になったとき、してみたい「仕事や働き方」に近いものを選んでください。(複数選択可)

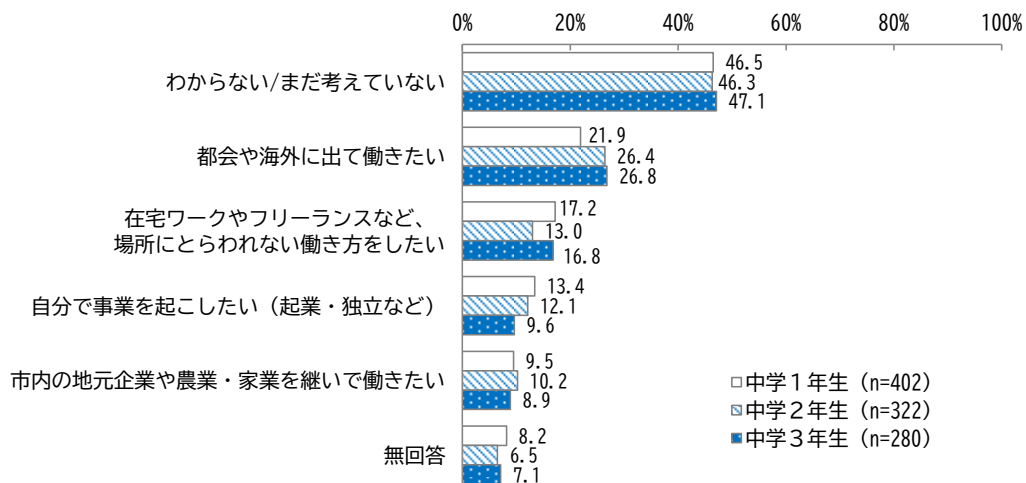
全体では、「わからない／まだ考えていない」が46.7%と最も多く、次いで「都会や海外に出て働きたい」が24.7%、「在宅ワークやフリーランスなど、場所にとらわれない働き方をしたい」が15.7%となった。中学生の約半数は、現時点で将来の仕事や働き方についてまだ具体的なイメージを持っていないことがうかがえる。都会や海外志向といった働き方への関心も一定程度みられる一方で、「市内の地元企業や農業・家業を継いで働きたい」は最も低い割合となった。

図表 18 希望する将来の仕事や働き方(全体)



学年別にみると、どの学年でも「わからない／まだ考えていない」の割合が最も高く、いずれの学年でもほぼ半数にのぼる。「都会や海外に出て働きたい」は学年が上がるにつれてやや増加している一方で、「自分で事業を起こしたい」は学年が上がるにつれてやや減少している。なお、「地元企業や農業・家業を継ぎたい」はすべての学年で1割未満から1割程度であり、大きな差はみられない。

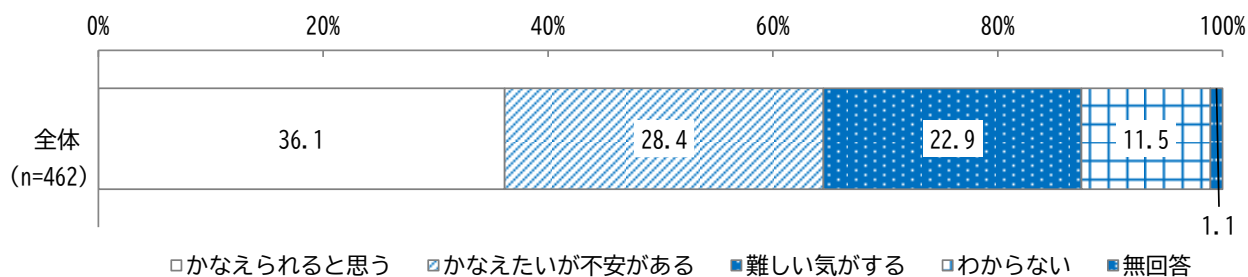
図表 19 希望する将来の仕事や働き方(学年別)



問9-1 選んだ「仕事や働き方」は、荒尾市でもかなえられると思いますか。

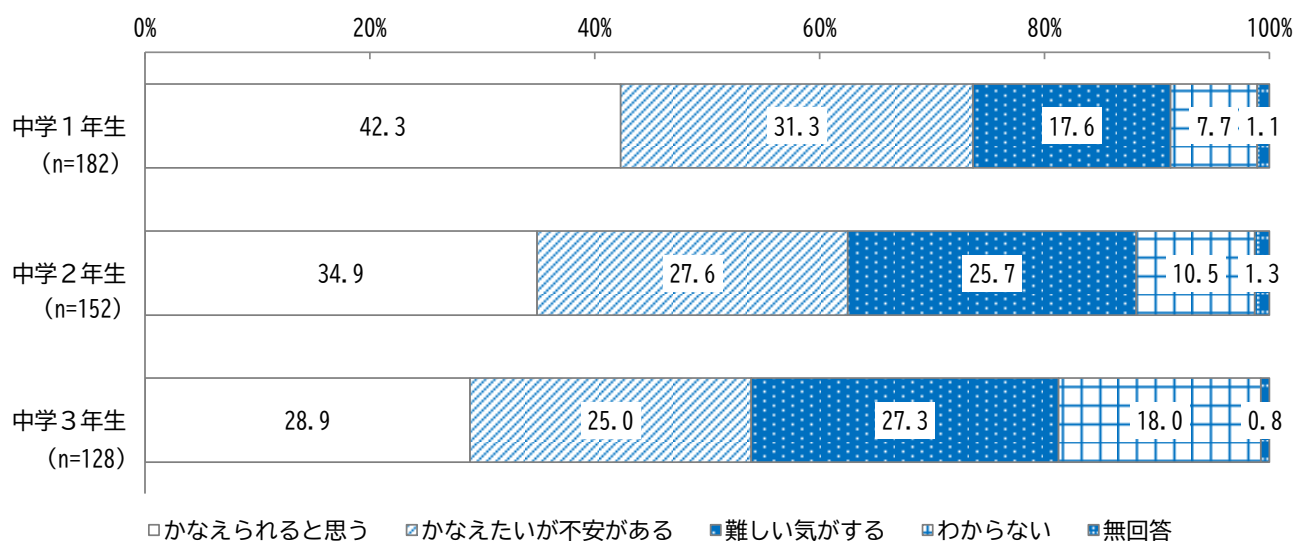
全体では、「かなえられると思う」が36.1%で最も多く、次いで「かなえたいが不安がある」が28.4%、「難しい気がする」が22.9%、「わからない」が11.5%であった。将来希望する仕事や働き方が荒尾市でも実現できると考える生徒は一定数いる一方で、不安や困難を感じる生徒も少なくない。地元での自己実現について、前向きな意見と慎重な意見の両方がみられる。

図表 20 将来の仕事・働き方の実現に対する意識(全体)



学年別にみると、中学1年生では「かなえられると思う」が42.3%と最も高く、「かなえたいが不安がある」31.3%、「難しい気がする」17.6%、「わからない」7.7%である。中学2年生では「かなえられると思う」34.9%、「かなえたいが不安がある」27.6%、「難しい気がする」25.7%、「わからない」10.5%となっている。中学3年生では「かなえられると思う」28.9%と最も低く、「難しい気がする」は27.3%、「わからない」も18.0%と他学年より高い。学年が上がるにつれて「かなえられると思う」と考える生徒の割合が減り、「わからない」や「難しい気がする」とする生徒の割合が増加する傾向がみられる。

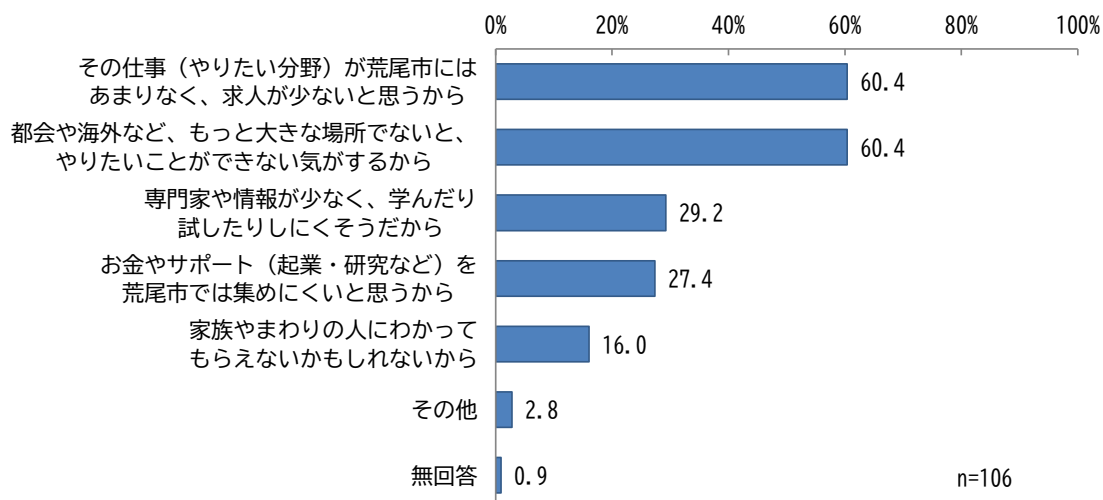
図表 21 将来の仕事・働き方の実現に対する意識(学年別)



問9-2 どうして荒尾市では難しいと思いますか。当てはまるものをすべて選んでください。

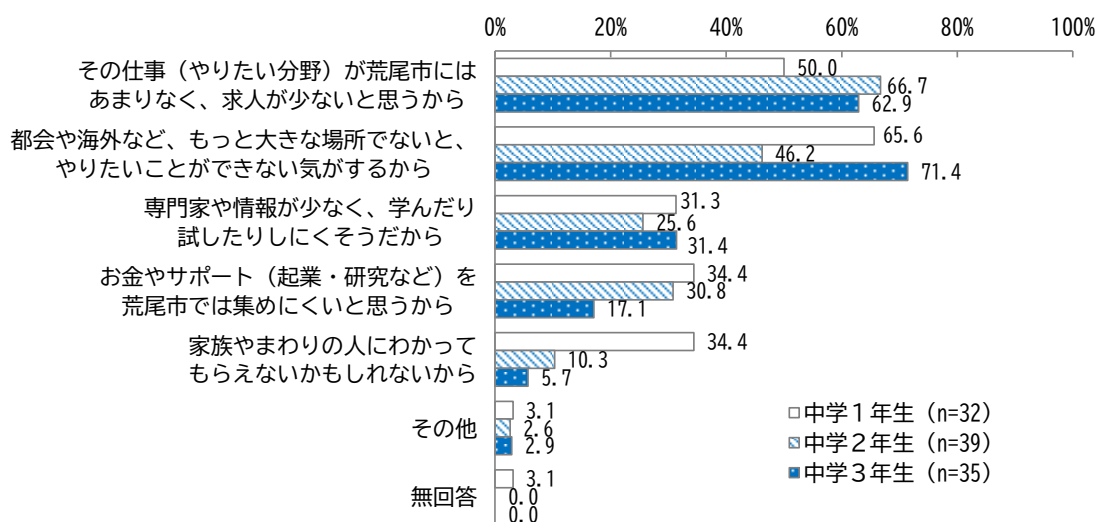
全体では、「その仕事(やりたい分野)が荒尾市にはあまりなく、求人が少ないと思うから」と「都会や海外など、もっと大きな場所でないと、やりたいことができない気がするから」がいずれも 60.4%と最も多く、次いで「専門家や情報が少なく、学んだり試したりしにくそうだから」(29.2%)と続いた。

図表 22 希望する将来の仕事・働き方の実現が難しい理由(全体)



学年別にみると、中学1年生では「都会や海外など、もっと大きな場所でないと、やりたいことができない気がするから」が 65.6%と最も高い。一方、中学2年生では「その仕事が荒尾市にはあまりなく、求人が少ないと思うから」が 66.7%と最も多く、他の選択肢も3~4割前後で分散している。中学3年生については「都会や海外など、もっと大きな場所でないと、やりたいことができない気がするから」が 71.4%となっている。

図表 23 希望する将来の仕事・働き方の実現が難しい理由(学年別)

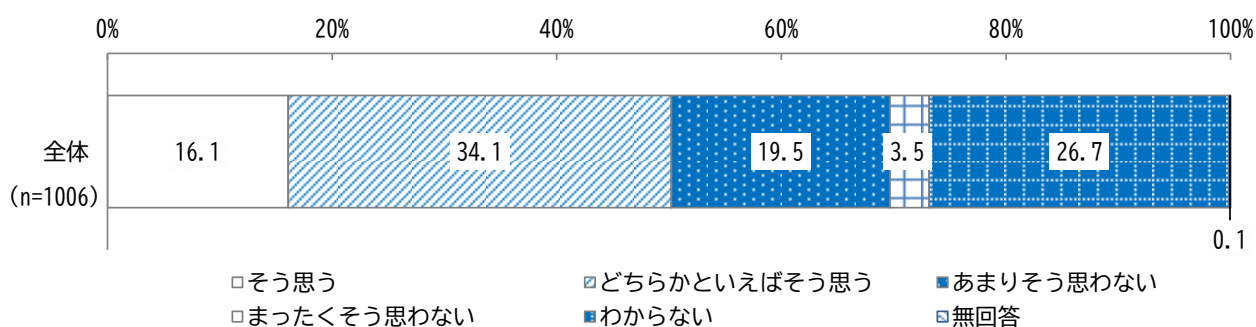


問 10

あなたは荒尾市のまちづくりに「自分の意見を言える場」や「若い人の声を聞いてもらえる機会」があると思いますか。

全体では、「そう思う」が16.1%、「どちらかといえばそう思う」が34.1%であり、あわせて半数程度が「自分の意見を言える場」や「若い人の声を聞いてもらえる機会」があると感じている。一方で、「あまりそう思わない」19.5%、「まったくそう思わない」3.5%と、否定的な回答も一定数見られる。「わからない」とした生徒も26.7%にのぼり、まちづくりへの関わりについて実感を持っていない生徒も多い。

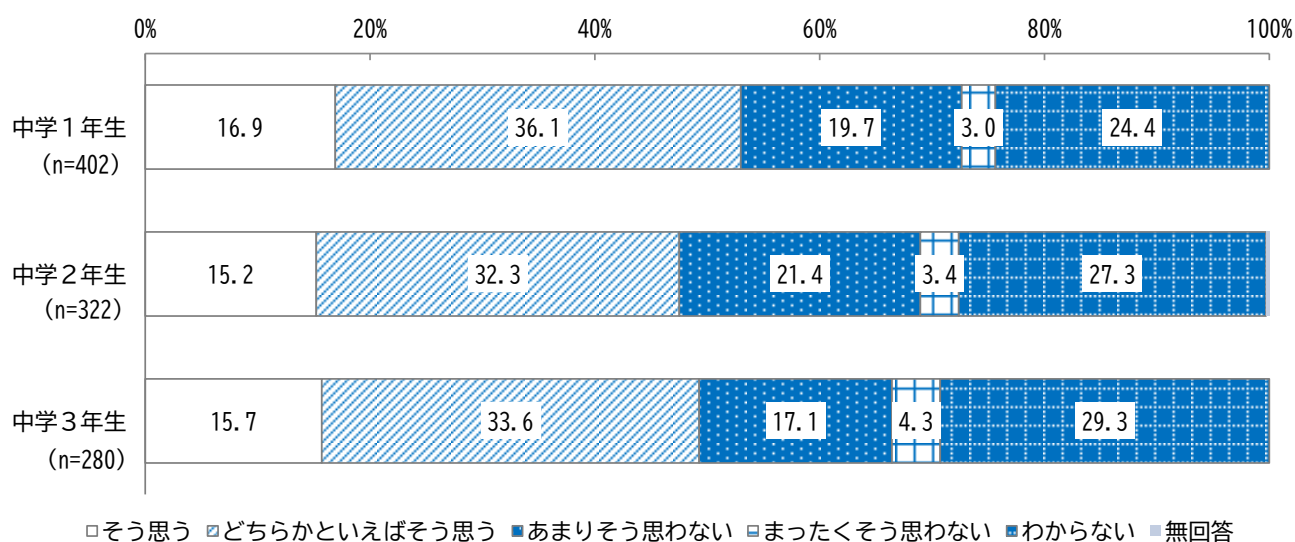
図表 24 自分自身の意見を表明する場や機会(全体)



学年別にみると、肯定的な回答(「そう思う」「どちらかといえばそう思う」)の割合は中学1年生で53.0%、中学2年生で47.5%、中学3年生で49.3%となっている。否定的な回答(「あまりそう思わない」「まったくそう思わない」)は、どの学年も2割程度であった。「わからない」とした割合は、中学1年生24.4%、中学2年生27.3%、中学3年生29.3%と、学年が上がるにつれて増加している。

まちづくりに対する中学生の参画意識は学年による大きな差はないが、「声が届いている」と感じている生徒は半数程度にとどまっている。また、「わからない」とする生徒が多いことから、意見表明や若者の声の反映について、実感を持っていない生徒が一定数存在することがうかがえる。

図表 25 自分自身の意見を表明する場や機会(学年別)

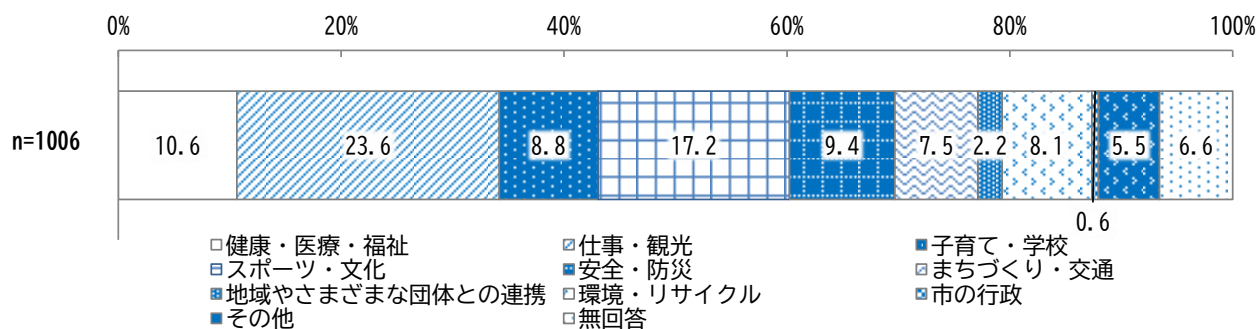


問 11

あなたが望む荒尾市の未来はどのようなものでしょうか。テーマを1つ選び、それを基に、どのような市の姿になったらいいか自由に記入してください。

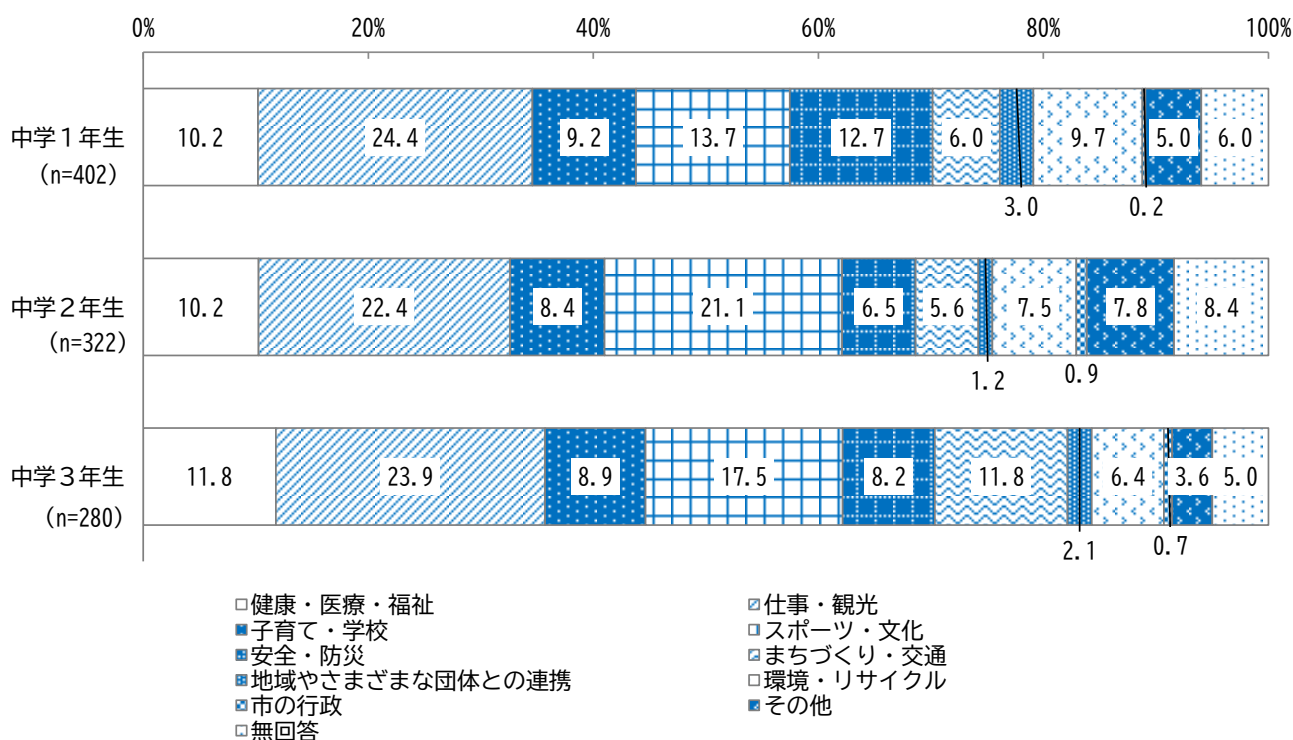
全体では、「仕事・観光」をテーマとした回答が23.6%と最も多く、「スポーツ・文化」17.2%、「健康・医療・福祉」10.6%、「安全・防災」9.4%、「子育て・学校」8.8%、「環境・リサイクル」8.1%など、幅広い分野に関心が分かれています。

図表 26 荒尾市の未来の姿(全体)



学年別にみると、「仕事・観光」はいずれの学年でも最も多く、中学1年生24.4%、中学2年生22.4%、中学3年生23.9%である。「スポーツ・文化」は中学2年生で21.1%と最も高く、他の学年でも一定の割合を占めている。「健康・医療・福祉」や「子育て・学校」も全学年で1割前後であり、「安全・防災」は中学1年生で12.7%とやや高い傾向がある。そのほか、「まちづくり・交通」や「環境・リサイクル」など、さまざまなテーマが選ばれているが、学年による大きな偏りは見られない。

図表 27 荒尾市の未来の姿(全体)





## 問 11 自由記入欄の主な回答

### 健康・医療・福祉 83 件

医療が進んでいてみんな健康に過ごせるようになっている姿
病気や怪我をしたときにすぐに対処してくれる
みんなが安心して暮らせるような市
医療も充実し、高齢者の方も支援できるようになっていればいいなと思いました
みんなが笑顔で健康でいる市になってほしい

### 仕事・観光 194 件

たくさんの観光地ができて、いろんな観光客が来てにぎわっているような荒尾市になってほしい
若い人たちが働きたいと思える場所
観光地や仕事を増やして観光客や若い人が仕事に来るように
いろんな県とか外国の方々がかかる観光地になってほしい
グリーンランドや荒尾梨の良さをもっと広めてほしい

### 子育て・学校 80 件

育児などへの支援が豊富で育児がしやすいような姿
遊ぶ場所が充実して、子供から大人まで楽しく暮らせるような市になってほしい
教育機関がしっかりしていていろんな形で学習できる
全ての子供が不自由なく学校へ通えるようになっている
子供達が増えて活気あふれる市にしたい

### スポーツ・文化 150 件

体育館などがより整備され、スポーツや文化を通じた交流で繋がりをつくっていくような姿
スポーツなど、年齢や性別にとらわれず、みんなで協力して取り組めるものがあるといいと思った
スポーツのイベントがたくさん開催される市
荒尾市特有の文化をのばして欲しい
スポーツに力を入れた市の姿

### 安全・防災 87 件

地震や大雨などにすぐに対応できる、被害を抑えられる安全な市
災害があったときに、スムーズに避難できる
自然災害などのことが起きた時にみんなで助け合ったり、施設が充実していてほしい
地域での防災訓練などがある
信号がないところにも、信号がついて、見にくい角とかにちゃんとミラーがつく



### まちづくり・交通 67 件

電車の便数をもう少し増やしてほしい
都会のようにバスの便が増えてほしい
歩道がないところがあって危ないから作って欲しい
子供から大人まで楽しめるような場所が増えてほしい
自然は守りつつ、都会に近い便利な市

### 地域やさまざまな団体との連携 19 件

地域や団体の人達との連携で仲良くなる
老人と若い人たちが協力しながら仲良く暮らしている市
地域のイベントがたくさんある荒尾市
いろんな市や町と交流ができる荒尾
地域や団体の連携が取れば避難訓練などもスムーズに進むはず

### 環境・リサイクル 73 件

ゴミが落ちていない綺麗な荒尾市
自然などの景観が守られている
いつまでも緑や綺麗な海など豊かな自然があり、自然と共存できる市
リサイクルなどをみんながする市になったらいいと思う
環境をよく、SDGs を達成させていきたい

### 市の行政・その他・テーマ無記入 86 件

もっと市の施設や環境、治安を良くして住みやすく安心して生活できる街にしたい
偏見などがなく多様性を考えられる市
差別などないみんなが優しい荒尾市になって欲しい
IT 化が進んだ市
AI・デジタル化をテーマにして年寄りでも安心して生活できるような荒尾市になったらいいと思う